



THE
ミズホ
ONLINE

稲株の残渣処理と土作りを 兼ねて秋に『バクヤーゼK』



バクヤーゼKの分解テスト



放置区画と
緑肥+バクヤーゼK区画の比較

ワラや稲株、前作の残渣を分解する微生物資材『バクヤーゼK』。バクヤーゼKは、窒素、リン酸、カリの三要素をはじめ、マグネシウムやカルシウムが含まれており、有機由来原料100%で、効果の高い資材になります。そのため、稲作はもちろんの事、畑作やハウスなどの施設園芸や家庭菜園まで幅広く使われています。

●生産者さんがずっと使い続けている理由

【未熟有機物の堆肥化促進】

水田の稲ワラや畑の残渣の分解促進・腐植増大効果、堆肥作成時の発酵促進や未熟堆肥の土中発酵促進。

【ボカシ肥としての効果】

稲や畑の元肥・置き肥などの追肥として、三要素や微量元素の供給効果

【ハウスなどの太陽熱処理】

土中未分解残渣の分解促進、発酵熱による地温上昇・有効微生物の供給などの相乗効果で悪玉微生物(土壌病害菌)を抑制し、有効微生物が優位な土壌環境に改善。

水田の使用方法(10a当たり)

収穫後、全面散布し耕起する

普通地力の水田…3~4袋、低地力の水田…5~7袋

※耕起は最低2回は行き、回数を重ねる毎に深く耕起する。

畑の使用方法(10a当たり)

・露地畑の収穫後…10~20袋

・ハウス収穫後…20~30袋

・秋冬野菜の元肥…15~20袋

●資材紹介●



株式会社 ミズホ

〒466-0807 名古屋市昭和区山花町64-1

TEL: 052-763-4171 FAX: 052-761-3771

Mail bio@mizuho.to

お知らせ：Mリンのミズホでは皆さまの栽培投稿を募集しています。QRから投稿下さい。